

災害についての情報を入手しましょう

災害の危険を知っておこう

災害に関する情報を事前に知っておき、いざという時に身を守るための行動を確認しておきましょう。

◆ハザードマップ（各種災害の危険予測地図）

市では、洪水や大雨による浸水、土砂災害、津波の恐れのある区域のほか、災害から身を守る方法などを掲載したハザードマップ等を作成しています。

ハザードマップ等は、市役所本庁舎1階市政情報センター等で配布するほか、市ホームページhttp://www.city.sendai.jp/kurashi/bosai/d97/1215547_2933.htmlでもご覧いただけます。

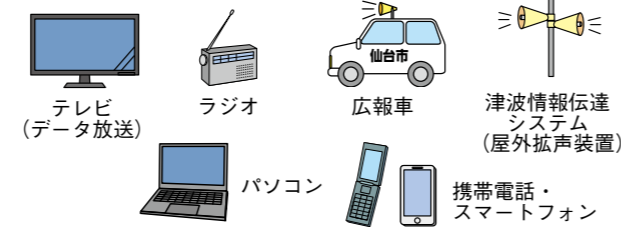
◆せんだいぐらしのマップ

お住まいの場所で発生する恐れのある災害や、最寄りの避難所等の詳しい地図情報について、ホームページ<http://www2.wagmap.jp/sendacity/top/>でご覧いただけます。



災害発生時の情報の入手方法を確認しよう

災害に関する情報は、市や報道機関等から、さまざまな方法で提供されます。



◆緊急速報メール

携帯電話やスマートフォン等の対応機種に対して、災害や避難に関する緊急情報を、対象となる地域内で一斉にお知らせします。

◆インターネット

- 杜の都防災Web <http://sendacity.bosai.info/sendacity/fireinfo/>
- 杜の都防災メール <http://sendacity.bosai.info/sendacity/bosaimail/>
- 仙台市危機管理室Twitter https://twitter.com/sendai_kiki

6.12「市民防災の日」を取り組みのきっかけに

総合防災訓練を行います

昭和53年6月12日午後5時14分、マグニチュード7.4（震度5）の地震が仙台を襲いました。「1978年宮城県沖地震」と名付けられたこの地震をきっかけに、6月12日を「市民防災の日」と定めて、毎年、総合防災訓練を実施しています。

今年の訓練は、長町一利府断層を震源とするマグニチュード7.5の直下型大地震が発生し、市内で最大震度7の揺れが発生したと想定して行われます。また、災害は日中に発生するとは限らないことから、夜間における対応力の向上を図ります。

◆訓練内容

直下型大地震の際に予想されるさまざまな状況を実際に体験する発災対応型訓練や、東日本大震災の経験を踏まえて作成した地域ごとの避難所運営マニュアルに基づき、避難所の開設運営や備蓄物資の取り扱い訓練等を行います。

●直接会場へ ●昨年実施した、携帯電話等にメールで訓練内容を通知する「緊急速報メール一斉送信訓練」は行いません（津波避難訓練（11月上旬実施予定）に併せて実施予定です）



▲「107万市民の総合力による防災の実現」をテーマとして、総合防災訓練を夜間に実施します

区	会場	日時
青葉	北六番丁地区および北六番丁小学校	6/19(金) 18:00~
	落合栗生地区および栗生小学校	6/12(金) 18:00~
宮城野	燕沢地区および燕沢小学校	6/6(土) 18:00~
若林	南小泉地区および南小泉小学校	6/13(土) 18:00~
太白	柳生地区および柳生小学校	6/12(金) 18:00~
泉	住吉台地区および住吉台小学校	6/12(金) 17:00~

災害用伝言ダイヤル「171」を活用しましょう

災害発生時、被災地の通信が増えて電話が繋がりにくい状況になった場合に、NTTが提供する声の伝言板です。全国どこからでも伝言の録音・再生ができ、事前契約は不要です。毎月1日、15日などのほか、6月6日~19日にも体験できます。利用方法を確認しておきましょう。

●利用方法—「171」に電話して、音声案内に従って伝言の録音・再生を行います

問NTT東日本☎116（携帯電話からは☎0120・116074）

★各携帯電話会社等でも、「災害用伝言板サービス」を実施していますので、操作方法などをご確認ください（設備のメンテナンス等で、一定期間ご利用できない場合があります）

この特集に関するお問い合わせは、防災計画課☎214・3108、減災推進課☎214・3049



▲昨年の総合防災訓練



「まさか」の時に備えて

—災害への備えを確認しましょう

家庭での備蓄の確認を

災害時には物流が止まり、食料品や生活用品が不足することがあります。年に最低一度は、備蓄や非常持ち出し品の確認をしましょう（右図参照）。

非常持ち出し品チェック表

避難所へ避難する際には、食料品や飲料水、毛布などを持参するようにしましょう。



非常持ち出し品（例）

- ◆非常食
 - 食料品 飲料水
- ◆衣類等
 - 衣類 軍手 毛布 タオル
- ◆貴重品等
 - 現金 預金通帳 印鑑
 - 健康保険証 証書類
- ◆医薬品等
 - 服用中の薬 お薬手帳 常備薬
 - 包帯 ガーゼ 消毒液
 - ばんそうこう マスク
 - 粉ミルク・離乳食 紙おむつ
 - 生理用品
- ◆その他
 - 携帯ラジオ 懐中電灯 乾電池
 - ビニール袋 マッチ・ライター
 - ウエットティッシュペーパー
 - ティッシュペーパー 筆記用具

※各家庭では、1週間分の食料品や飲料水の備蓄に努めましょう



東日本大震災では、自らの手で身を守る「自助」と、地域で支え合う「共助」が、災害時に大きな力となることを経験しました。日頃から防災について考え、家族で避難場所や連絡方法などを話し合ったり、備蓄を補充したりするなど、災害に備えましょう。また、災害の規模が大きくなるほど、地域の絆が大切になります。普段から、地域の防災訓練等に参加したり、近隣の危険な場所や居住者の状況を把握したりするなど、

自助・共助を意識して、災害対応能力を高めよう

空間放射線モニタリングポストを設置しました

市では、原子力災害発生時等に市内の空間放射線量の情報を独自に収集するため、「空間放射線モニタリングポスト」を市役所本庁舎、区役所（青葉区以外）、総合支所の7カ所に設置しました。

空間放射線量は、モニタリングポストで24時間常時測定するほか、市内63カ所で月1回測定。測定結果については、市ホームページ等でご覧いただけます。



地域のつながりを深め、まちの災害対応能力を高めましょう。